

2025年12月18日



報道関係者各位

一般社団法人海と日本プロジェクト in 愛知県

“これからも愛される乙川を目指して” おとがわりバークリーンイベントに参加しました

2025年12月13日（土）<愛知県岡崎市・乙川河川緑地>

一般社団法人海と日本プロジェクト in 愛知県は、ONE RIVER と連携して、2025年12月13日（土）に愛知県岡崎市の乙川河川緑地を中心とした河川敷の清掃活動「おとがわりバークリーン」に参加しました。このイベントは、日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で開催するものです。

公式サイト : https://tv-aichi.co.jp/aichi_uminohi/



イベント概要

【開催概要】 おとがわりバークリーン

【日程】 2025年12月13日（土）9時～11時30分

【開催場所】 愛知県岡崎市・乙川河川緑地左岸および太陽の城跡地

【参加人数】 約50名

【主催】 ONE RIVER

【協力団体】 八千代エンジニヤリング株式会社

毎年12月は、リバークリーンイベント！

自分たちが使う場所は、自分たちの手でキレイにしよう！

子どもも大人も裸足で駆け回れるような場所にしよう！

そんな想いで2017年から始まったおとがわりバークリーンは、清掃活動だけではなく、河川敷を楽しむ賑わいの場所として活用する事を目指しています。海と日本プロジェクト in 愛知県ではごみがないきれいな乙川を ONE RIVER と共に目指し、海洋ごみの流出を減らし、海をきれいにできる取り組みとして、毎年、おとがわりバークリーンに参加しています。普段は毎月1回行っているおとがわりバークリーンですが、限られた時間と人数では拾いきれないごみがたくさんあります。そこで12月はいつもより規模を拡大して、長い時間、大勢の人数で実施しました。



みんなの活動で乙川がきれいに！

この日、乙川の河川敷に集まったのは、地元の市民や団体、企業などから約50人。

「レツツリバークリーン！」の掛け声でそれぞれの持ち場に分かれ、ごみ拾いを行いました。

チームごとに目標を持ってごみを拾おうと「大物を見つける！」や「たくさん拾う！」などテーマを掲げて、ごみ拾いを行いました。中には、川底にあるごみを拾おうと、長靴を履いたり、胴長を着て冷たい川の中に入っていく参加者もいて、川をきれいにしようとする真剣な気持ちが伝わる活動となりました。

およそ1時間のごみ拾いで集まったのは、大きなタイヤやビン、缶、ペットボトル、たばこの吸い殻、衣類、釣り竿など実に様々。中でもプラスチックごみは、台車1台分も集まり、去年に比べると増加傾向にあるため、このまま回収されずに海まで流れつくと、どうなっていたのかを考えさせられる結果でした。

そして、最後はみんなで綱引き！上流チームと下流チームに分かれて戦い、大きな歓声がきれいになった乙川の河川敷に響き渡りました。



参加者からの声

- ・「自分が生まれる前のごみがあり、川ごみから時代の変遷を感じることができた」
 - ・「台車 1 台分にもなる、プラスチックごみの量の多さに驚いた」
 - ・「胴長を着て川の中に入ると、川底に埋まっているごみに気づくことができ、表面的に見えているよりも多くのごみが捨てられていることに気が付いた」
- などの声が聞かれました。

＜団体概要＞

団体名称 : 一般社団法人海と日本プロジェクト in 愛知県
URL : https://tv-aichi.co.jp/aichi_uminohi/
活動内容 : 愛知県を対象地域とした海と日本プロジェクトを推進する。



CHANGE FOR THE BLUE

国民一人ひとりが海洋ごみの問題を自分ごと化し、"これ以上、海にごみを出さない"という社会全体の意識を向上させていくことを目標に、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として 2018 年 11 月から推進しているプロジェクトです。

産官学民からなるステークホルダーと連携して海洋ごみの削減モデルを作り、国内外に発信していきます。

<https://uminohi.jp/umigomi/>



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海

で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>